

220805 名古屋城全体整備検討会議  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

14:00

鈴木：定刻 はじめる 保存整備室長  
上田から挨拶

上田：所長

オブザーバー 文化庁：渋谷、平澤

愛知県 皆見

51回目 議題 水堀など3つ

報告 天守台穴蔵背面

下御深井御庭

鈴木：座って進行

出席者紹介

撮影、録音はここまで

資料1 補足資料

資料2 余芳 89 ページ

本年度現状変更許可資料も机上配布している

座長に移る

瀬口：事務局から説明

14:09

事務局：舟運

前回 ボーリング調査は石垣部会で議論するように

議論の中で、資料追加、組み換えした

調査研究センター たねだ：名古屋城に存在した水堀

波止場 5 ページ図 1 1

エ 御船上場 江戸時代後期で場所が分からなかった

イ、ウ 明治に護岸して何も残っていない

舟運

・日常的 南から北へ 藩主が遊ぶ、見回り、掃除

・臨時的 接待

4代藩主吉通 帰城

・非常時 実際にはない 火事、戦争

瀬口：まだあるか

事務局：2 内容

船着場は辰之口前の人工地盤の活用を優先して検討  
ボーリングしたい  
石垣部会 特に意見はなかった  
前回全体 史跡、遺構を活用した舟運

14：24

瀬口：意見は

特にないか

今日の報告 波止場、二の丸、名城公園のつながり  
藩主が逃げるのが通説だった 看板に書いてある  
今回はっきりした

二の丸と御深井丸庭園のつながりを明らかにした  
名城公園 どう扱うか 全体整備検討会議で議論しては  
岡本ひでおさんの資料は訂正して

丸山：水質が悪くなるのは夏場 どんなものか

舟運 あおこなど出て臭かったら大変

夏場の悪い時期

にわかに出てこなければいい

悪くなった時にどういう対策

名古屋城：年の平均しかない あらためて報告する

瀬口：年8回 水道水を注入している

水質はいいと思うが、念のために確認  
余芳の移築改憲

14：29

中野：去年7月 全体に諮った

建造物部会、庭園部会で議論

両部会で了承いただいた

文化庁への報告 基本計画も机上配布

14:33

瀬口：意見は

特にないか

4 ページ断面図

赤羽：3 全体外構計画

暗渠

排水をどう考えているのか

二の丸全体の排水計画とかかわってくる

排水、給水計画は

鈴木：排水計画 この3月 二の丸整備計画

基本的には西にある北池に流れ込む

給水 臨時的散水栓は引っ張ってくる

水道施設を設置する計画はない

丸山：防火設備が入ってくると思うが

中野：防火設備 余芳 消防法上は限られている

水をかけるのは考えていない

瀬口：現状変更 仮囲いと平板載荷試験、素屋根

中野：本体も

瀬口：特になかったということでもいいか

本件 意見なし 現状変更許可の手続きを進めて

議題3 本丸搦手馬出周辺石垣

草野：ジオテキスタイルの仕様

実施設計の報告

吸出防止層+ジオテキスタイル 決まっていたが、具体的な仕様は検討

石垣部会で意見

特段大きな問題はなく了承

今後の流れ 12月石垣修復

今後9月部会に諮る 10月全体に諮る

①標準設計法

③有限要素法

①A-1

すべてのケースで転倒は起こらない

③4-3 ジオテキスタイルない

4-4 ジオテキスタイルある

1.2メートル間隔、敷設長 5.0mでも有効性

断面 8.7.6 赤が入っていないところも

14：48

瀬口：意見

高瀬：1 ページは現況図か？計画図か

事務局：計画図

高瀬：水平排水層はあるのか？

事務局：現況ない

排水が悪いからはらみだしたと考えた

栗石を入れる

小濱：ジオテキスタイルを入れて盛り土の安定性を確保

2 ページ目 地盤乗数？

事務局：地盤常数

小濱：2 ページ目 丸の根拠が分からない

有限要素法解析が3 ページ

静的、動的解析

事務局：詳細な説明は割愛した

後ろに参考でつけた

丸の根拠は7 ページ 安全率の比較

動的解析 地震波を与えている 6 ページ

最大変量

小濱：7 ページ目 まとめ 判定○

1 以下でも○は理解できない

事務局：安全率 5 ページに記載

転倒は石垣高さを変数 可変している

モーメントが土側ならよい

マイナス計算結果でも○

小濱：計算結果は出ている

安全率 1.5 は 1 より大きい

1 より小さい 強さに対する応答率

強さが低いという意味 ○が解せない

意味が違うのではないか

全体安定に対する検討 1 以上は理解できる

鈴木：5 ページ 左下の表 表 6 - 1

転倒は安全率ではなく長さ

小濱：表の記載がおかしい

鈴木：異質なものが入っている

小濱：ぜひご検討を

盛り土の安定性を調べた

今回は盛り土と石垣は別

逆石が転がって落ちる危険性

石垣についてはどうなのか

石垣はジオテキスタイルは考えていないのか

鈴木：一般的 盛り土はジオテキスタイル

前面にパネル ジオテキスタイルが緊結

今回のジオテキスタイルを築石に緊結しなくていいのか？

地震時の安全性を高める

築石の安全性 築石で対策

逆石 お尻があがると危険

傾きを持った石を適正に再調整して対策する

小濱：石垣は別に対策をたてるということか  
盛り土 はらみだしなければ石垣にも影響しない

三浦：8 ページ 9 番目  
赤い線は復元 上に上がっている  
なぜへこんでいるのか

事務局：最終的な復元断面ではない  
10 ページ 断面図 機械的に打ち出したものが 8 ページ  
基準面を  
機械的に並べた 出入りしている  
天端の位置を調整するのが実施設計の作業内容

鈴木：10 ページ 38 番 基準断面 天和期オリジナル  
機械的に 隣の断面と関係なくやった  
今後びしっとするように作業

三浦：正しいか検証  
正しくなければ直そうということか

事務局：そう

瀬口：中間報告 石垣部会で検討して  
1 時間たったので休憩

鈴木：15 時 15 分から再開  
15：05

15：15

瀬口：再開  
水堀の夏の水質

事務局：水堀 6 ページ水質  
令和 2 年度年の平均  
COD 4.5  
SS 5.5  
TN 0.2

TP 0.1

環境目標値はクリアしている

瀬口：オブザーバーから意見

皆見：ご指導いただいた

さらに業務一層すすめていただければ

渋谷：議題それぞれ議論を踏まえ、いろんな側面から議論いただいた

5月文化審議会 天守についての取り組み

コメントが出た 丁寧に議論を進めてとなった

有識者の皆様 会議を経ながら事業を進めている

大事なこと

今後調査成果をいかに舟運 いかしていくか

市民の理解を得て

瀬口：有識者会議で丁寧な議論をしている

市民にも伝えて

平澤：昨年から全体会と部会 取り扱い整理した

昨年トライアルがあって混乱

今般のように全体会議 基本的な審議を受けて部会で細かい審議

全体で確認 今回明快だった

名勝 余芳移築再建 議論した おおむね整った

現状変更 瀬口先生から取りまとめ 手続きは詰めて責任をもって引き受けたい

審議の結果で少し議論が必要ならお戻りする

引き続きよろしく

瀬口：名勝は特別にお話しいただいた

3つは終わった 事務局に戻す

鈴木：報告題2題

天守台穴蔵石垣背面調査

村木：諸般の事情でリモート参加

本来、公開の会議でご議論、現状変更

6月書面会議

経緯を含めて報告

昨年 8 月 全体で根石調査

背面も調査実施すべき

今年 5 月石垣部会諮った

調査は賛成 目的、調査区について意見

部会で了解、全体で書面で確認

調査の内容は省略

資料 1 ページ目、2 ページ目 現状把握

残存状況

戦後工事 石垣安定性確認

資料 6 ページ 大天守黄色 3 か所

当初小天守も 調査できるのか？見送り

1, 3 についても遺構が残存している可能性がある

2 工事の際改変 石垣の安定性を確認

それぞれ調査区 天端から掘り下げる 栗石の調査

書面会議で了解 文化庁に現状変更

7 月に許可を得た

名古屋城の準備が整ったら調査に取り掛かりたい

15:27

鈴木：質問があるか

高瀬：調査はいつか

村木：前面石垣調査中

契約してから 9 月にははじめたい

鈴木：2 つめ 下御深井御庭調査

村木：愛知県 名城公園で調査

瀬口座長から本来名古屋城の一部 報告するように

別の部会で名古屋城に関連する どのように盛り込むか

本日は調査の成果を報告

踏まえて当面取り組めることを報告する

下御深井御庭 赤いところが名古屋城

北波止場が左端

赤いやじるし 松山茶席

赤いところが名城遺跡  
愛知県が作った資料  
見開き 遺構の全体図 近世の遺構 ごく一部  
薄い緑色 江戸時代 中央西、南端  
大半が弥生、古墳時代  
もともと田畑 検出ができなかった  
西端 石灯籠  
南端 かまど  
中日新聞報道 南側遺構群 松山茶席の蔵の庭？  
名古屋城調査研究センター 今後どう対応するか  
調査成果 一部下御深井御庭  
陶器が出ている  
・考古学芸員、文書 整理に参加できないか  
成果を適切に把握したい  
・絵図 蓬左文庫  
下御深井御庭の使われ方を研究したい  
全体整備に取り入れるか  
当然調査を継続、検討したい

鈴木：意見は

赤羽：発掘調査の結果 名古屋市教育委員会  
どう認識しているのか  
名古屋市 遺跡として認定していなかったのでは？

名古屋市教育委員会文化財保護室加藤：従前遺跡ではないところから出た  
今名城公園として使われている  
発掘された場所 南側 名城公園  
結果を受けて、今後公園開発行為 遺跡発見も想定される  
試掘もお願いすることを考えている  
公園管理している部署 そういった地下遺構 不時発見につながる  
公園の開発があれば試掘  
遺構が発見された場合 文化財先生 保存地の拡大も考えられると認識

丸山：石灯籠もあった どういうものか  
ごぞんじなければ 庭園部会で灯籠をやっている

愛知県：遺物は調査していない

丸山：掘り上げたのか？

愛知県：遺物 見せられない 調査整理中

丸山：報告書来年はできない？

愛知県：整理中 近々にできる

丸山：担当者 話を聞きたい

愛知県：伝える

村木：私たちも調査整理に参加したい  
先生に相談することがあればよろしく

高瀬：石灯籠が出土した池 西側一帯？

村木：緑色が池と認識している

高瀬：池の形をしている

瀬口：発掘調査をしているのは体育館を作るため  
体育館の位置と、松山茶屋  
かかっているならば体育館を移動してもらうくらい  
文化財の破壊  
民家ではなくテニスコート  
国の土地  
必要であれば移すくらい 報告書を作るではだめ  
設計できたなら後戻りしにくくなる  
戦国時代砦  
建物ずらしてほしい いえないはダメ  
そのための準備  
発掘調査して報告書 最低  
きちんとすれば価値が上がると思う

名古屋市教育委員会文化財保護室：意見を拝聴した  
記録保存 一つの現状の保存と認識  
開発行為がなければ遺跡 話はよく分かる  
愛知県、我々も遺跡を記録して保存する  
存在を将来につなげる 報告書作成に向けて  
意見を頂戴したことは受け止める  
なかなか体育館の位置の移動 なかなか困難ではないか

瀬口：県委員だった時、朝日遺跡を見学した  
なぜ残らなかったか  
吉野ヶ里、三大丸山に匹敵する  
高速道路を作る計画だったから  
動かすくらいの力がないといけない  
遺跡を壊した  
名古屋城の遺跡も同じ 繰り返しても  
命を懸けてでもやる 冗談だが  
名古屋城総合事務所は関係ないではない  
そろろうと、城郭のすばらしさ 日本的位置づけができる

鈴木：あとはよろしいか  
報告 2 つ目 終わる  
以上で  
15：48